

クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



X32 COMPACT デジタルミキサー

16 プログラム可能な MIDAS プリアンプ、17 モーターフェーダー、チャンネル LCD、USB オーディオインターフェイスおよび iPad/iPhone リモートコントロールを搭載した 40 インプット、25 バス デジタルミキシングコンソール



JP





注意 感電の.恐れがありますので、カ バーやその他の部品を取り外 したり、開けたりしないでください。高品 質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準 ケーブルおよびツイスト ロッキング プラ グケーブル) を使用してください。

注意 火事および感電の危険を防ぐ ため、本装置を水分や湿気の あるところには設置しないで下さい。装置 には決して水分がかからないように注意 し、花瓶など水分を含んだものは、装置の 上には置かないようにしてください。

注意 このマークが表示されている 箇所には、内部に高圧電流が 生じています。手を触れると感電の恐れが あります。

注意 取り扱いとお手入れの方法に ついての重要な説明が付属の 取扱説明書に記載されています。ご使用の 前に良くお読みください。



取扱説明書を通してご覧ください。
取扱説明書を大切に保管してくだ

さい。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、 適切な換気を妨げない場所に設置してく ださい。取扱説明書に従って設置してくだ さい。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、 ストーブ、調理台やアンプといった熱源か ら離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないで ください。二極式プラグにはピンが二本つ いており、そのうち一本はもう一方よりも幅 が広くなっています。アースタイプの三芯プ ラグには二本のピンに加えてアース用のピ ンが一本ついています。これらの幅の広い ピン、およびアースピンは、安全のためのも

のです。備え付けのプラグが、お使いのコン セントの形状と異なる場合は、電器技師に 相談してコンセントの交換をして下さい。 10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりし ないようご注意ください。電源コードやプ ラグ、コンセント及び製品との接続には十 分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保 されていることを確認して下さい。



13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、 テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみ をお使いください。カートを使用しての運 搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご 注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術 者にお問い合わせください。電源コードも しくはプラグの損傷、液体の装置内への浸 入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿 気に装置が晒されてしまった場合、正常に 作動しない場合、もしくは装置を地面に落 下させてしまった場合など、いかなる形で あれ装置に損傷が加わった場合は、装置 の修理・点検を受けてください。



法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は 予告なく変更される場合がありま す。またその内容の正確性について、 いかなる保証をするものではありませ ん。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM)のブランドです。すべ ての商標はそれぞれの所有者の財産で す。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべ て、もしくは一部の記述、画像および声 明を基にお客様が起こした行動によって 生じたいかなる損害・不利益等に関して も一切の責任を負いません。色およびス ペックが製品と微妙に異なる場合があり ます。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の 正規代理店のみが行っています。ディスト リビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示 された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。 この説明書は、著作権保護されていま す。本取扱説明書に記載された情報内容 は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事 前の許諾がない限り、いかなる利用者もこ れを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ 替え、工作することは禁じられています。

製権所有 © 2013 MUSIC Group IP Ltd. Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定 保証に関する概要については、オンライン 上 www.music-group.com/warranty にて詳細を ご確認ください。



はじめに



ミキサー操作の概要

X32 デジタル ミキシング コンソールのクイ ックスタートガイドへようこそ! このガイド では、ミキサーの基本操作を説明し、即座 に使用出来るようサポートします。ぜひこ のガイドに目を通しながら、コンソールの 他の画面や操作を色々と試してみる事をお 奨めします。コンソールのユーザーインタ ーフェイスは非常に簡単にナビゲートおよ び学ぶことができるように設計されていま す。behringer.com では英語のユーザーマニュ アル PDF をダウンロードおよび閲覧するこ とができます。

ユーザーインターフェイスの操作

X32COMPACT のユーザーインターフェイス は5つの主要なセクションに分かれてい ます。:

- チャンネルストリップおよびモニタリ ング
- 2 インプットチャンネル
- ③ ディスプレイ
- ④ グループ / バス / メインチャンネル
- ⑤ シーン / アサイン / ミュートグル ープ

View ボタンアプローチ

コンソール上部パネルには小さな View ボタンをすぐに見つけることができるでしょ う。View ボタンは押されたセクションに関 連する情報をコンソールの大型カラーディ スプレイ (メインディスプレイ) に切り替え て表示します。

例えばあなたがイコライザーを編集してい て、EOの周波数レスポンス曲線または対応 する EQ パラメータ値をメインディスプレイ で確認したい場合、EQ セクション内の View ボタンを押して下さい。また、モニター信 号がルーティングされている場所を確認す る必要がある場合には、Monitor セクション View ボタンを押すと、メインディスプレイに 詳細が表示されます。

View ボタンアプローチは常に該当する画面 に直接行くことができるので、X32 コンソー ルのメニューのページをスクロールする必 要がほとんどありません。

メモ:メインディスプレイの Setup/Global タブ にて、View ボタンと Select ボタンの環境設 定を調整可能です。

ユーティリィティページ X32 COMPACT の力 スタマイズ

メインディスプレイの右側にある Utility ボタンを押してください。ボタンメニューは 状況に応じて数多くの機能を表示します。 例えば:

- コンソールチャンネルのイコライザーを 調整する場合、Utilityボタンを押すとこ こでイコライザー設定のコピー&ペース ト、ロード / セーブが可能になります。
- チャンネルセレクトボタンを押しながら Utility ボタンを押すとチャンネル名などの 設定画面が表示され、メインディスプレ イと小さなチャンネルディスプレイの両 方にチャンネル表示をカスタマイズ可能 です。

- Routing ページでは Utility ボタンを押す と、ルーティングシナリオの異なるプリ セットのロード / セーブが可能です。
- Scenes メニューで Utility ボタンを押すと、 コンソールシーンのコピー、ロード、セー ブおよび名前を設定できます。



Dir 05 Dir 06



セクション 1: チャンネルストリップとモ ニター

X32 のチャンネルストリップは現在選択さ れているチャンネルの最も重要な処理を 行うパラメータのコントロールです。チャン ネルストリップのコントロールを調整する には目的のインプットまたはアウトプット チャンネルの Select ボタンを押します。

チャンネルストリップ (例えば、ローカッ トフィルター、ノイズゲート、EO、コンプレ ッサーなど)のセクションではそれぞれの 名称が付いたボタンでオン / オフ可能で す。ボタンは効果が有効であることを示 すために点灯し、バイパス時には暗くなり ます。

チャンネルストリップ内、アンバーの LED で囲まれたロータリーコントロールノブは パラメータの値を示します。ノブ自体のバ ックライトがオフになっている時には特定 の制御 / パラメータが選択したチャネル タイプには使用できない事を示していま す。例えば、アウトプットバスが現在選択 されている場合、ゲインノブおよび周りの LED リングは消灯しています。 これはアウト プットバス上では入力ゲインを制御するこ とがないためです。

チャンネルストリップは以下のサブセクシ ョンで構成されています:

- Config/Preamp
 - Gate, Dynamics

セクション 2: インプットチャンネル バンク

各チャンネルの上には Select ボタンがあ り、すべてのチャンネルに関連したパラメ ーター群 (チャンネルストリップ、メイン ディスプレイ)をダイレクトにコントロー ルできるようなユーザーインターフェイス となっています。常に1つのチャンネル (Ch 1-32, Aux 1-8, FX Returns 1L-4R, Mix Bus 1-16, Main LR/C, Matrix 1-6 等) が選択されているこ とに気をつけてください。 尚、 DCA グルー プは複数アサインされたチャンネルをコン トロールするので選択ができません。

ます。この場合ページ番号の表示は小さな 1/2 (図参照)です。レイヤーを切り替える には Layer ▲/▼ボタンを押します。

JP

- Equalizer
- Main Bus

これらの各サブセクションは現在選択さ れているチャンネルの処理ステップに対 応した独自の View ボタンを持っています。 これらが選択された場合、メインディスプ レイにそのサブセクションに関連するすべ てのパラメータを表示します。

モニターとトークバック

このセクションには) 種のレベルコントロ ール、1つはコンソール両サイドのヘッドフ ォンアウト、もう1つはリアパネルにある モニターアウト用があります。

セクションの View ボタンを押すとヘッドフ ォンアウトやモニターアウト用のインプット ソースの選択などさまざまなモニター設定 を編集できます。

また、このセクションには独立した Talkback ボタン (A, B) があります。Phones Level ノブ セクションの View ボタンを押し Page Select 右を押すと、Talkback A や Talkback B の編集 ページにアクセスすることができます。 また、このスクリーンにはグースネックラン プや内臓テストトーンジェネレータの設定 があります。

コンソールのインプットチャンネルセクシ ョンは左側にあり、8 基個々のチャンネル ストリップが用意されています。

- インプットチャンネル 1-8
- インプットチャンネル 9-16
- インプットチャンネル 17-24
- インプットチャンネル 25-32
- Aux インプット 1-6/USB 再生
- エフェクトリターン

コンソール左側に位置する 6 つのレイヤ ーボタンは上記のそれぞれに相当するレ イヤーヘインプットチャンネルバンクを切 り替えます。ボタンが点灯し、どのレイヤ ーが有効になっているかを知らせます。

はじめに

残り 2 つのレイヤー(BUS MASTER 1-8 および 9-16) は 16 Mix Bus Masters のレベルを調節 し、DCA Group アサインに Bus Masters を含め る時に便利です。

各フェーダーストリップはモーターを装備 した 100 mm ストロークのレベルフェーダ ー、Mute ボタン、Solo ボタン、Gate インジケ ーター、インプットレベルメーター、コンプ レッサーインジケーター、チャンネル Select ボタンを持っています。

8 インプットチャンネルそれぞれに独自の カラー LCD スクリーン (カスタマイズ可能) を持ち、チャンネルナンバー、ニックネー ム、アイコンなどを表示します。このLCD

ディスプレイはチャンネルのインプットが切 り替わった時には異なったインプットソー ス名を表示し、デフォルトセットアップと異 なったことを知らせます。



例: チャンネル 01 はサウンドカードのニックネームを 持ち、Aux5から入力が供給される等。

Ch01	01	OpeningScene	T		A: S16	= A: 48K	15.22
\mathcal{D}		02: next	0:00	- 0:00	= B: -	C: X-USB	13.33:15
FatSpare	hon	config	aata	dyn	0.0	conde	main
Tatonare	non	ie j	guie	uyn	ey	Sellus	mum

セクション 3: メインディスプレイエリア

メインカラーディスプレイは様々なセクシ ョンの情報を表示します。View ボタンによ って異なったスクリーンに切り替えたり、 ディスプレイ右側の8つのボタンで切り替 えることができます。

メインディスプレイの左上側には現在選択 されているチャンネル番号、ニックネーム、 アイコンを表示します。次のブロックには 現在のシーン番号と名前がアンバー色で 表示され、次のシーンも同時に表示されま す。中央のブロックにはレコーダーのステ ータスアイコンと経過時間、残時間および 再生ファイル名が表示されます。次のブロ ックには 4 つの区切りで示される AES50 ポ ート A と B、カードスロット、オーディオ同 期クロックソースとサンプルレート(右上) の各ステータスがあります。小さな緑の四 角は正常に接続されていることを示してい ます。一番右側のブロックにはコンソール の時間が表示され、Setup/Config にて設定可 能です。

任意スクリーンで作業中、ディスプレイ枠 にある Page Select キーを押すと異なったス クリーンへと切り替えることができます。

パラメータを設定および編集するにはディ スプレイ下 6 つのプッシュエンコーダーを 使います。

- 連続的なコントロールもしくはリスト入 力時には該当するノブを回して編集を行 います。
- 下のフィールドにはトグル機能のある長 方形ボタンスイッチがあります。該当する エンコーダーを押してオン / オフを行い ます。長方形ボタンがアンバーのときは オンもしくは有効に、ダークグレイの時 にはオフもしくは無効になっています。



セクション 4: Group/Bus チャンネルバンク

このヤクションの8基のチャンネルストリ ップは下記のレイヤーに分かれています。

- 8 DCA (デジタル制御アンプ) グループ
- Mix Bus マスター 1-8

セクション 5: 様々なアサイン (DCA グルー ィスプレイの Mute Grp を再び押してオフに します。6つの Mute Groups ボタンが使用可

プ、Mute グループ、カスタムアサインコン トロール) 能になりました。

• DCA グループアサイン

個別な2つのフェーダーグループ (左側: インプット、右側: アウトプット) によりバーチャル DCA Group へのチャンネ ルアサインおよびバスアサインはとても 楽な作業となります。コンソールの右側の 各 DCA グループの Select ボタンを押したま ま DCA グループにアサインしたいインプッ トチャンネルの Select ボタンを押すだけで す。またDCA グループ Select 押すと、どのチ ャンネルがすでにアサインされたかをボタ ンが点灯して知らせます。

• Mute グループアサイン

ミュートグループのアサイン作業は上記と 同様ですが、本番中に誤ってオンラインの チャンネルまでミュートされないようにデ ザインされています。インプット / アウト プットチャンネルを 6 つの Mute Groups の1つヘアサインするには(Main LR フェ ーダーの右にあるボタン群によってコン トロール)、まずメインディスプレイ右 側の Mute Grp ボタンを押します。任意の Mute Groups ボタンを押したまま目的のイン プット / アウトプットチャンネルを選択し ます。これでミュートグループのアサイン が終わりました。アサインが終わったらデ

あります。

• カスタムアサインコントロール

• Mix Bus マスター 9-16

コンソールの Assign セクションには A, B, C の3バンクを持つ8個のボタンで24種 の機能を自由にカスタマイズすることが できます。

カスタムアサインを行うには:

- Assign セクションの View ボタンを押し ます。
- 編集したいコントロールセット(A, B, C) を選択します。
- アサインしたい1から8までのコント ロールを選択します。
- 機能をアサインもしくはコントロールし たいパラメーターを選択します。 通常これは特定のチャンネルパラメータ

(例: リードボーカリストのリバーブオン / オフ等) に使用されます。

Jump-to-Page コントロールは特別なタイプ の設定で、いかなるオーディオパラメータ も変更しませんが特定のディスプレイペー ジヘジャンプさせるのに使われます。

DCA グループのレイヤーを使用中に は DCA グループはソロ / ミュートが 可能ですが選択することはできま せん。DCA グループの名前、アイコン、 色等を変更するにはメインディスプレ イの Setup/DCA Groups ページで行います。

JP

アイコンの色も Utility と Select ボタンを 同時に押すことによって編集することが できます。一度このスクリーンが開かれ ると、他のチャンネルも選択することが できるのでレイアウトの編集を一度に行 うことができます。

• Matrix Outputs 1-6、メインセンターバス このセクションにはどのレイヤーやチャン ネルバンクがアクティブになっていても機 能するメイン LR アウトプットフェーダーが

"Sends on Faders" 機能

コンソールには2つのフェーダーセクショ ン間に "Sends on Faders" 機能を持つとても 便利なボタンがあります。



"Sends on Faders" 機能は任意の Mix Buses へ送るチャンネルレベル設定に役立ち ます。Mix Buses 1-16 へのチャンネルアサイ ンのみの機能で DCA グループやメイン およびマトリックスバスでは機能しませ ん。"Sends on Faders"は殆どのライブサウン シーンにおいて使える機能です。

はじめに

スを準備するには

- ターバス (1-8,9-16) を選択します。
- Sends on Faders ボタンを押して点灯させ ます。
- 6 つのインプットチャンネルレイヤーの 1つを選択します。
- Sends on Faders が有効な間はインプットチ ャンネルセクションにあるすべてのフェ ーダー (コンソール左側) は選択されたミ ックスバス (モニター) のセンドレベルに 一致します。

特定のミュージシャンへのモニターミック インプット信号がどこに送られたかを確認 および編集をするには

- ステージモニターに接続されているモニ 左側セクションのインプットチャンネル を選択します。
 - Sends on Faders ボタンを押して点灯させ ます。
 - バスチャンネルレイヤー 1-8 または 9-16 を選択します。
 - バスフェーダー (コンソール右側) には選 択されたインプットチャンネル (コンソー ル右側) のセンドレベルが現れます。

Sends on Faders 機能は両方法ともインプット またはアウトプットチャンネルを選択する ことは X32 では特殊です。

Ch01 0	1 01: me analog ou	0:00	■ - 0:00 ■ A	a: 516 ■ A: 48K : - ■ C: X-USI at aes50-a c	3 13:45:19 nes50-b
Inputs 1-8 Local In 1-8 Local In 9-16 [Local In 17-24] [Local In 17-24] [Local In 17-24] [Local In 17-24] [AESSO A3-8 AESSO A3-16 AESSO A3-16 AESSO A3-16 AESSO A3-25 AESSO A3-25 AESSO A3-26 AESSO B3-16 AESSO B3-16 AESSO B3-16 AESSO B3-16 AESSO B3-16 AESSO B3-16 AESSO B3-23 AESSO A25-32	Channel Pr Inputs 9-16 Local In 1-8 Local In 9-16 [Local In 17-24] [Local In 25-32] AES50 A1-8 AES50 A1-8 AES50 A1-8 AES50 A1-24 AES50 A1-24 AES50 B1-6 AES50 B1-6 AES50 B17-24 AES50 A25-32	tocessing Block Patc Inputs 17-24 Local In 1-8 Local In 9-16 Local In 9-16 Local In 17-24 (Local In 25-32) AES50 A1-8 AES50 A1-8 AES50 A1-24 AES50 A1-8 AES50 B1-8 AES50 B1-8 AES50 B1-24 AES50 A25-32	h Inputs 25-32 Local In 1-8 Local In 9-16 [Local In 17-24] [Local In 17-24] [Local In 17-24] [Local In 17-24] [Local In 17-24] AESSO A1-8 AESSO A1-8 AESSO A1-8 AESSO A1-8 AESSO B1-8 AESSO B1-8 AESSO B1-6 AESSO B17-24 AESSO A25-32	Aux In 1-4 Aux 1-4 Local 1-4 AES50 A1-4 AES50 B1-4 Card 1-4 Card 1-4	AES50 B
Select Connect	Select Connect	Select Connect	Select Connect	Select Connect	

ルーティング I/0

リアパネルにはマイクプリアンプを装備した 16 基の XLR インプット、8 基の XLR アウトプ ット、6 基の TRS Aux センド / リターン、そし て 2 基の AES50 ポートは 48 チャンネル分の インプットアウトプットを扱うことのできま す。また 32 チャンネル分のインプットアウト プットを扱うことのできる USB 2.0 またはコン ピューターインターフェイス用のカードスロ ットを装備しています。

インプット信号はコンソール内蔵オーディオ プロセッシングエンジンにより8シグナルブ ロックのうち1つのインプットソースとして 扱われます。

注意: すべてのオーディオプロセッシングに パッチングされたすべてのシグナルブロック は自動的に対応するインプットチャンネルへ 接続されます。

インプット 17-24 と 25-32 には括弧がついて います。これはこの機器では物理的に使用 できないことを示しています。これらをアサ インしても信号がどこにも接続されません が、これは X32 コンソール用に用意されてい るためです。



Output Signals は内部信号から下記のコネ クターへ自由にアサイン可能です。

- 8 アナログ XLR アウトプット (スピーカー 時間差補正用ディレイ機能付)

• 8 ヴァーチャルアウトプット (*) は AES50 のカード出力にルーティングされます • 6 AUX センド: ¼" TRS アウトプット +2 AES/EBU アウトプット



Input Channels 1-16 は初期設定ではインプ ット信号 1-16 になっていますが、 ミックス バス / サブグループアウトプットを含む 他のオーディオエンジンへパッチするこ とができます。チャンネルソースの変更は Preamp Config ページで行います。

Input Channels 17-32 は初期設定では AES50 A インプット 1-16 になっています。 これはポ ート A に S16 ステージボックスを接続し て自動的にチャンネルを振り分けるため です。

Aux リターン チャンネル 1-8 は初期設定 では 6 AUX インプット信号と 2 USB プレイ バックアウトプットになっていますがコンソ ール内の利用可能な信号にもパッチング可 能です。

FX Return Channels 1L-4R はサイドチェイン 4基のステレオアウトプットシグナル FX 1-4

として扱われます。

• 16 チャンネルパーソナルモニター P16 用の Bus アウトプットコネクター JP

信号は上記すべてもしくは部分的に 8 シグナルブロックとして下記へミラーリ ングすることができます。

- AES50 ポート A の 48 チャンネル
- AES50 ポート B の 48 チャンネル
- USB インターフェイスカードの 32 チャ ンネル



Mix Bus Channels 1-16 の設定はプリセットが 可能で (Setup/Global ページ) 個々またはチ ャンネル毎に以下の設定が可能です。

- インサートポイント (ポストフェーダー、 プリフェーダー切り替え)
- 6 バンド フルパラメトリック EO
- コンプレッサー / エキスパンダー (ポスト EQ、プリ EQ 切り替え)
- 6 マトリックスへのバスセンド (プリ EO、ポスト EO、プリフェーダー、 ポストフェーダー、サブグループ)
- Main LR パン
- Mono/Center レベル

Main Bus Channels LR/C はミックスバスから 独立して常に利用可能です。このシグナル パスの設定は以下の通りです。

- インサートポイント(ポストフェーダー、 プリフェーダー切り替え)
- 6 バンド フルパラメトリック EO
- コンプレッサー / エキスパンダー (ポスト EQ、 プリ EQ 切り替え)
- 6 マトリックスへのバスセンド (ポストフェーダー)

Matrix Channels 1-6 は MAIN LRC とミックスバ ス 1-16 信号へ独占して接続されます。設定 は以下の通りです。

- インサートポイント(ポストフェーダー、 プリフェーダー切り替え)
- 6 バンド フルパラメトリック EQ
- コンプレッサー / エキスパンダー (ポスト EQ、プリ EQ 切り替え)

エフェクトプロセッシング 1-8

X32 COMPACT コンソールは 8 つのトゥルー ステレオエフェクトエンジンを搭載してい ます。

- FX 1-4 はサイドチェーンまたはインサー ト エフェクトとして設定することができ ます。FX 5-8 はチャンネルまたはバスのイ ンサートポイントのみで使用することが できます、
- サイドチェーン FX 1-4 リターンは常にイ ンプットチャンネルの 6 番目のバンク (レイヤー) として制御することができま す (FX リターン)。FX 1-4 のリターン信号 は左右別々のフェーダーを持っているこ とに注意してください。
- FX のホーム画面では各 8FX スロットのバ ーチャルラックや FX 1-4 の入力ソースや エフェクトの種類 / アルゴリズムなどを 選択できます。
- FX 画面の FX1-FX8FX タブでは選択され たエフェクトプロセッサーのパラメータ の編集を行うことができます。

X32 COMPACT iPad アプリ

専用 iPad 用アプリケーションによっ て、X32 COMPACT コンソールの多くの機能が リモートコントロールできます。 アプリのダ ウンロード、セットアップと操作についての 詳細は X32 COMPACT 製品ページからダウン ロードできるユーザーズマニュアルに記載 されています。

ユーザーインターフェイスは iPad のタッチ スクリーンに最適化され、コンソールの最 も重要なリモート機能に集中しています。 アプリを使用するとオーディエンスとまっ たく同じミックスを聞きながら、ミュージシ ャンと対話中にステージからモニターミッ クスを調整したり、オーディエンス側から FOH ミックスを調整することができます。

X32 COMPACT Windows/OS X/Linux アプリケ ーション

ホストコンピューターで編集可能なリモー トエディターも提供され、Ethernet 接続で 32 COMPACT の完璧なコントロールが可能と なります。アプリのダウンロード、セットア ップと操作の詳細は X32 COMPACT の製品ペ ージからダウンロードできるユーザーズマ ニュアルに記載されています。

メモ: X32 COMPACT リモートコミニュケーシ ョンは OSC (open sound control) に準じたプロ トコルになっています。 デベロッパーが独 自のコントロールソフトウェアをデザイン できるように behringer.com にて OSC プロト コルの詳細を公開しています。

スタート、シャットダウン及びアップデ

最初に X32 ミキサーの電源をオンにして からスピーカーを接続し、電源をオフにし てからスピーカーを外すことを心がけてく ださい。これはスタートアップ / シャット ダウンプロセス中の予期しないノイズ発 生から機器を守るためです。

セットアップ画面の一般設定ページで は、Safe Main Levels 機能があります。 アクテ ィブにすると、コンソールの起動時には自 動的にメイン LRC レベルをミュートしま す。また、様々なシーンにおいて電源の影 響を抑えることができます。

コンソールの同期とサンプルレートは Setup/Config ページで設定することができ ますが、いかなる変更もコンソールの再起 動を要求しますのでご注意ください。メイ ンディスプレイの上部にある赤い小さな四 角の指示が表示されたら、同期設定の Setup/Config が適正となっているかどうかを 確認してください。(セクション3を 参照)



コンソールを他の誰かによって使用された り、特定のルーティングの状態についてわ からなくなった場合は、次の2つの方法 で X32 の設定をデフォルト状態にリセット することができます:

 コンソールが起動し「X32」ロゴがスク リーンに現われたら、Scenes セクション の Undo ボタンを押したままにし、ホー ムスクリーンが現れてコンソールが完

X-USB エキスパンジョンカード

X-USB カードにより、接続されたコンピュ ータへ 32 チャンネルまでの伝送が可能で す。コンピュータにミキサーを接続する前 に behringer.com から X-USB ドライバとクイ ックスタートガイドをダウンロードしてく ださい。

全に使用可能な状態になるまでボタ ンを離さないでください。コンソール は工場出荷時と同じ状態になります。 また、起動後すぐに Scenes/Undo ボタン を押すことにより、コンソールが最後に オフにされたときの状態に戻すことが できます。また、Setup/Config を押してか ら、"Initialize"を実行することによってコ ンソールをいつでも初期化することが できます。

メモ: コンソールを初期化すると、現在表 示されているデータまたは保存されたシ ーンは自動的に消去されません。すべての シーンをクリアしたい場合は Setup/Config ページの Initialize All Show Data で行ってくだ さい。

ストア操作中に電源が切れたことによるエ ラーを防止するために、Setup/Global ページ の "Safe Shutdown"機能を使用することを お勧めします。

注意: The X32 COMPACT は Setup/Global ページ の Lock Console を使うことにより、他の誰か によって操作されるのを防ぐことができま す。この状態ではユーザーインターフェイ スがどのような変更も受け付けず、ディス プレイには "X" マークを表示します。 ディ スプレイ右の HOME ボタンを5秒間押した ままにすることで X32 COMPACT をロック解 除することができます。

X32 COMPACT のファームウェアは以下の 手順によって簡単に更新することがで きます。 • USB ドライブのルートトに X32 の製品ペ

- ージから新しいコンソールファームウェ アをダウンロードします。
- コンソールの電源がオフになっている 間に、トップパネルの USB コネクターに USB メモリを差し込みます。

 コンソールのスイッチを入れてくださ い。 起動時に X32 COMPACT は 完全自 動でファームウェアのアップデートを 実行します。これには通常の起動より 2、3 分長くかかります。

JP

注意: X32 COMPACT キャビネットの最下部の ファン開口部をふさがないでください。 大型の低速回転ファンはほとんど音がし ませんが確実に動作しています。特にハ ードケース等に X32 COMPACT をマウントす るときには空気の流れを確保にするため、 下には十分なスペースを空けてください。

X32 COMPACT デジタルミキサー ブロックダイヤグラム



13 クイックスタートガイド

技術仕様

プロセッシングチャンネル数	32 入力チャンネル, 8 aux チャンネル, 8 FX リターンチャ ンネル, 16 aux バス, 6 マトリクス, main LRC		
エフェクトエンジン、トゥルーステレオ / モノラル	8 / 16		
トータルリコールシーン (プリアンプおよびフェーダー含む)	100		
シグナルプロセッサー	40 ビット フローティングポイント		
A/D-D/A コンバーター(Cirrus Logic A/D CS5368, D/A CS4385)	24 ビット @44.1/48 kHz, 114 dB ダイナミックレンジ		
ローカル I/0 レーテンシー(ローカルイン > コンソールプロセ ッサー* > ローカルアウト)	0.8 ms		
ネットワーク 1/0 レーテンシー (ステージボックスイン > コンソー ルプロセッサー* > ステージボックスアウト)	1.1 ms		
コネクター			
XLR 入力, プログラミング可能なマイクプリアンプ, MIDAS デザイン	16		
トークバックアウト入力, XLR	1 外部 (+内蔵マイク)		
RCA 入力/出力	2/2		
XLR 出力	8		
モニター出力 ¼"TRS バランス	2		
Aux 入力 / 出力, ¼" TRS バランス / アンバランス	6/6		
ヘッドフォーン出力, ¼" TRS	2 (ステレオ)		
デジタル AES/EBU 出力, XLR	1		
AES50 ポート, SuperMAC	2		
エクスパンジョンカードスロット	32 チャンネルオーディオ入力 / 出力, 規格多様		
P-16 コネクター, Ultranet (電源供給不可)	1		
MIDI 入力 / 出力	1/1		
Ethernet, RJ45, 背面, リモートコントロール用	1		
USB タイプ A, 上面, オーディオおよびデータのエクス ポート / インポート用	1		
USB タイプ B, 背面, システムアップデート用	1		
マイク入力特性			
プリアンプデザイン	MIDAS		
THD + ノイズ, 20 Db ゲイン, 0 dBu 出力	< 0.006% A-weighted		
入力インピーダンス XLR 端子, アンバランス / バランス	5 kΩ / 10 kΩ		
ノンクリップ最大入力レベル, XLR	+23 dBu		
ファンタム電源, 各入力スイッチ可	48 V		
等価入力ノイズレベル, XLR (入力ショート)	-128 dBu		
CMRR, XLR,@20 dB ゲイン (一般)	> 70 dB		
CMRR, XLR, @ 40 dB ゲイン	> 80 dB		

JP

入力 / 出力特性	
周波数帯域, @48 kHz サンプルレート, 0 dB to -1 dB	10 Hz - 22 kHz
ダイナミックレンジ, アナログインからアナログアウト (一般)	106 dB
A/D ダイナミックレンジ, プリアンプからコンバーター (一般)	109 dB
D/A ダイナミックレンジ, コンバーターから出力	108 dB
クロストーク @1kHz, チャンネル調整	100 dB
出力レベル, XLR, ノーマル / 最大.	+4 dBu / +21 dBu
出力インピーダンス,XLR, アンバランス / バランス	75 Ω / 75 Ω
入力インピーダンス TRS 端子, アンバランス / バランス	20 kΩ / 40 kΩ
ノンクリップ最大入力レベル, TRS	+16 dBu
ノーミナル出力, TRS	+4 dBu / +16 dBu
出力インピーダンス, TRS, アンバランス / バランス	150 Ω / 300 Ω
ヘッドフォーン出力インピーダンス / レベル	40 Ω / +25 dBm (ステレオ)
残留ノイズレベル, XLR および TRS	-87 dBu A-weighted)
ディスプレイ	
メインスクリーン	7", 800 x 480, 262k カラーTFT
チャンネル LCD スクリーン (17基)	128 x 64, LCD RGB カラーバックライト
メインメーター	24 セグメント (-57 dB からクリップ)
電源	
スイッチング電源	オートレンジ 100-240 V (50/60 Hz)
消費電力	120 W
仕様	
標準動作温度範囲	5°C – 40°C (41°F – 104°F)
	215 x 625 x 510 mm (8.5 x 24.6 x 20")
重量	15.4 kg (33.9 lbs)

* すべてのチャンネルとバス処理を含む、インサートエフェクトとラインディレイを除く

その他の重要な情報



1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前 に、各モデルに対応した正しい主電源を 使用していることを確認してください。 ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、 ヒューズの格納部を備えているものが あります。正しくない値のヒューズは、 絶対に適切な値のヒューズに交換されて いる必要があります。

2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様 のお近くにないときは、behringer.com の "Support"内に列記されている、お客様 の国の MUSIC Group ディストリビュー ターにコンタクトすることができま す。お 客様の国がリストにない場合 は、同じ behringer.com の "Support"内に ある "Online Support" でお客様の問題が 処理できないか、チェックしてみてく ださい。あるいは、商品を返送する前 に、behringer.com で、オンラインの保証請 求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コー ドを接続する前に、本製品に適切な電圧 を使用していることをご確認ください。 不具合が発生したヒューズは必ず電圧お よび電流、種類が同じヒューズに交換す る必要があります。

4. AES50: EUの EC EMC 2004/108/EC および USの FCC パート 15 の基準に準拠してい ます。Behringer X32 の AES50 ポート A/B に おけるすべての Ultranet, Ethernet 接続は CAT5/5e または CAT6 シールドケーブルでな ければなりません。

iPhone, iPad, OS X は US および各国で登録された Apple Inc. の商標です。Windows は US および各国で登録された Microsoft Corporation の商標です。 Linux は Linus Torvalds の商標です。





We Hear You

